

平成27年度全国中学校体育大会
第37回 全国中学校軟式野球大会

平成 27 年 8 月 21 日 (金) 天候 (曇り) 球場名 (信夫ヶ丘球場)

試合開始	8 時 59 分
試合終了	10 時 44 分
所要時間	1 時間 45 分

(内 中断 時間 分)

準々決勝 ・ 第 1 試合

記 録 員		先崎 貴徳
記 録 員		真柴 善継
球 審		西牧 邦彦
塁 審	1	渋川 一康
	2	四家 賢一
	3	伊藤 武徳
線 審	右	
	左	

都道府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
東京都	上 一 色 中	1	0	2	0	0	0	3									6
香川県	紫 雲 中	0	0	0	0	0	0	0									0

- ◆ハッテリー (上一色中) 小峯—小堀
(紫雲中) 三好, 小林—明石
◆本塁打 なし
◆三塁打 なし
◆二塁打 昆野, 坂本, 小峯(上一色) 大石(紫雲)
試合短評

信夫ヶ丘球場の準々決勝第1試合、紫雲中対上一色中の対戦は上一色中に軍配が上がった。上一色中は初回、紫雲中のエース三好の立ち上がりを攻め、押し出しの四球を選び、1点を先取。さらに、3回、スローカーブ対策としてコンバットな打撃に変え、2番鈴木木の右翼打を皮切りに、3番星野の左翼線の二塁打、4番山下の左中間安打の三連続安打で2点と効果的に得点を挙げた。守っても、上一色中のエース小星は、ダイナミックなフォームから、伸びのあるストレートと変化球を巧みに交え、紫雲打線に的を絞らせず、四安打に抑えた。紫雲中は、相手投手のストレートを積極的に打つ攻撃で、5回と6回到二死二・三塁の好機を迎えたが、もう一本が出ず、涙をのんだ。しかしながら、選手個々の潜在能力は高いものがあり、厳しい練習を乗り越えて全国大会に出場してきた好チームという印象を与えた。



【3回表2点追加】



【6回裏二死二，三星】

[illegible]

後攻 1 塁側				チーム名		香川県 紫雲中													
失策	打順	位置	背番号	氏名		学年	打数	得点	安打	打点	盗塁	犠打	四死球	三振	残塁	妨害			
	1	遊	6	森本 寛道		3	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0			
	2	二	4	岡 航大		3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0			
	3	左	7	西本 達哉		3	2	0	0	0	0	0	1	1	1	0			
	4	捕	2	明石 烈士		3	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0			
	5	中	8	大石 健翔		3	3	0	1	0	0	0	0	1	1	0			
2	6	一	3	土田 悠介		3	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0			
	7	三	5	明石 龍人		3	3	0	1	0	0	0	0	1	1	0			
	8	投	1	三好 岳		3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
4材	投	11		小林 辰徳		3	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0			
	9	右	9	谷澤 侑樹		3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
2 計						25	0	4	0	0	1	1	4	6	0				
						25					1	1				0			
						0									6				

[illegible]